

## 大阪府立金岡高等学校アスベスト飛散事故に関する協議会（第3回）

日 時 平成 25 年 12 月 22 日 午後 2 時～

場 所 大阪府立金岡高等学校大会議室（普通教室棟 1 階）

### 次第

#### 1. 聞き取り(面接)の内容について(内容の確認等)

- ・聞き取り（面接）の内容説明
- ・専門家からの意見聴取

#### 2. 次回協議会の開催について

大阪府立金岡高等学校アスベスト飛散事故に関する聞き取り(面接)の実施状況

月 日 曜日		時間	聞き取りの対象者	業務	聞き取りの担当(専門家)
第1回	10/20	日	10:00~12:00 安積建設㈱ A氏	元請業者の現場代理人	栗先生、久永先生、小坂先生、西岡先生、木野先生、伊藤先生
	1		15:00~16:00 (有) アイテックス物流 B氏	環境測定業者	栗先生、永倉先生、小坂先生、西岡先生、木野先生
	2	土	16:00~17:00 (有) アイテックス物流 C氏	環境測定業者	栗先生、永倉先生、小坂先生、西岡先生、木野先生
3		17:00~18:00 大阪府教育委員会施設財務課 宮崎副主査	大阪府教育委員会監督員	栗先生、永倉先生、小坂先生、西岡先生、木野先生	
第3回	10/27	日	10:00~12:00 ㈱東畑建築事務所 D氏、E氏	工事監理委託業者	栗先生、久永先生、永倉先生、小坂先生、山中先生、西岡先生、穂久先生
	2		13:30~14:30 大伸建設 F氏	高圧洗浄業者	栗先生、久永先生、永倉先生、小坂先生、山中先生、西岡先生
第4回	11/2	土	11:00~12:00 大島建材 G氏	軒裏囲い込み復旧作業職長	栗先生、久永先生、西岡先生、永倉先生

■ 1. アスベストの付着状況

対象者	聞き取り内容（要約）
安積建設 A氏	<p><b>北側(中庭側)</b></p> <p>①. 1階：・壁際にちよろちよろ付着（覗き込むと分かる程度）全体ではない。 ・不自然なものはなかった。</p> <p>②. 2階：X6～X8 辺りが不自然にひどい印象（資料7の⑫程度）。</p> <p>③. 3階：壁際にちよろちよろ付着（覗き込むと分かる程度）全体ではない。</p> <p>④. 4階：X9～X12 辺りが不自然にひどい印象（資料7の⑫程度）。</p> <p><b>南側(グラウンド側)</b></p> <p>⑤. 少しはみ出ている程度で不自然なものは無かった。</p>
アイテックス B氏	<p><b>北側(中庭側)</b></p> <p>①. 1階：記憶はありません。</p> <p>②. 2階：・ほぼ全面にあったと思うが、部分的に落ちている、または落とされている。 ・確実に全面にあると思った。</p> <p>③. 3階：確実に全面にあると思った。</p> <p>④. 4階：・かなりきれいに落ちている、または落とされている。 ・軒先の方にも吹付け材は見えたので、全面にあったのだらうと思った。</p>
アイテックス C氏	<p><b>北側(中庭側)</b></p> <p>①. 2階：濃くみえた。どちらかという東の方が濃かったという印象。</p> <p>②. 3階：濃くみえた。どちらかという東の方が濃かったという印象。</p> <p>③. 4階：少ない感じがした。西側の方がきれいに見えた。</p> <p><b>南側(グラウンド側)</b></p> <p>④. アスベストの付着状況はあまり覚えていない。</p>
府教委 宮崎副主査	<p><b>北側(中庭側)</b></p> <p>①. 2階：付着しているところが点在しているという感じ。</p> <p>②. 4階：付着しているところが点在しているという感じ。</p> <p><b>南側(グラウンド側)</b></p> <p>③. 授業をしており、一切見ていない。</p> <p><b>その他</b></p> <p>④. 全体的に付着があったという印象はほとんどなかった。</p>
東畑建築 D氏・E氏	<p><b>北側(中庭側)</b></p> <p>①. 2階：エレベーター付近が多かった。</p> <p>②. 3階：エレベーター付近が多かった。</p> <p><b>南側(グラウンド側)</b></p> <p>③. ほとんど無かった。</p> <p><b>東側(最上階のみ庇あり)</b></p> <p>④. ほとんど無かった。</p> <p><b>その他</b></p> <p>⑤. 耐火被覆は30mm程度であるが、軒裏で見つかったものは5mm程度</p> <p>⑥. 青石綿が全面に吹き付けられていたことは全くない。それは断言できる。</p>
大伸建設 F氏	<p>①. 天井裏に何かついているという印象は全然無かった。</p>
大島建材 G氏	<p>①. 天井面（デッキプレート裏）にはアスベストがあると分かった。ちょっと付いている所や無いところがあった。 ※【上記は、アスベスト付着指摘後の軒天復旧作業での話】</p>

【協議事項】 1. 軒裏アスベストの付着状況の確認

## ■ 2. アスベストの散乱状況

対象者	聞き取り内容（要約）
安積建設 A氏	<p>【屋外各所】</p> <p>①. 飛散させるようなことはなかった。</p> <p>【エレベーター周辺】</p> <p>②. 飛散させるようなことはなかった。</p>
アイテックス B氏	<p>【屋外各所】</p> <p>①. 2階、3階は落ちているのがパッと見て分かるくらい落ちていた。</p> <p>②. 足場の周りの1階部分で、大きな塊（資料9の写真V）が落ちているの確認している。</p> <p>③. 軒の上側の散乱は、廊下の窓越しに、各教室の間に1個くらい確認できるくらい。</p> <p>【エレベーター周辺】</p> <p>④. 1階エレベーター前は、すごく小さい。気にしてなかったらわからないくらい。</p> <p>⑤. 2階、3階エレベーター前は、写真Ⅲのようなものが落ちていて、踏みつけると横に粉じんが出るようなイメージ。</p>
アイテックス C氏	<p>【屋外各所】</p> <p>①. ものすごくあるとは思わなかったが、確認してこれだったら落ちてるかなと、見たら分かる程度。</p> <p>【室内】</p> <p>②. 窓の中側には確認することはできなかった。</p> <p>③. 中に入ったものは、見ていないと思う。</p>
府教委 宮崎副主査	※質疑なし
東畑建築 D氏・E氏	※質疑なし
大伸建設 F氏	<p>【屋外各所】</p> <p>①. 足場がザラザラ汚れていたり、モルタルの破片とかそういう物があつたということは無かった。</p> <p>②. 洗浄以外の作業の時にもアスベストのようなものが地面、足場等に落ちている状況は無かった。</p>
大島建材 G氏	<p>【屋外各所】</p> <p>①. 11月23日以降に作業に入ったが、足場の床面や下にアスベストが多少落ちているなどというのはあつた。</p>

【協議事項】 1. アスベストの散乱状況の確認

### ■ 3. 軒天撤去の作業内容

対象者	聞き取り内容（要約）
安積建設 A氏	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. 作業範囲の窓ガラスを保護するためプラスチックボードを5～10cm重ねて養生した。</li> <li>②. 軒天ボードの粉が飛散しないようブルーシート両端をUの字に上まで設置した。</li> <li>③. 湿潤化しほこりが飛ばないようにして、手作業で撤去した後、速やかに袋に二重詰めした。</li> <li>④. ケイカル板の上に、青石綿が落ちていたことは確認していない。とにかく錆屑が落ちていた。 注：上記④に関連する証言（第3回協議会での指摘により追記）               <ul style="list-style-type: none"> <li>・吹付の青石綿を取り扱ったのは、金岡の現場が初めて。</li> <li>・夏除去工事の時、青石綿を見ている。</li> <li>・夏に見た経験から、改めて見ると青石綿であることを感じた。）</li> </ul> </li> <li>⑤. 足場に物を置かないように、下に落ちたものを日々きれいに片づけることは指示した。</li> <li>⑥. 工事エリアについては、部屋内から窓を開けられない程度に鍵のところにテープで封印した。</li> <li>⑦. 飛散防止対策としては、足場の外部に通常のメッシュシートを張っていた。</li> <li>⑧. ボードを外している時は、ブルーシートの中に入れないので、廊下側から見るような形で確認した。</li> <li>⑨. ボードの撤去では、埃とかよりも、めくった時に大き目のコンクリートが乗っているのが不思議だった。</li> <li>⑩. ボードを外し終わった後、ボードの取り残しが無いか確認はしたが、吹付け材については、気付かなかった。</li> <li>⑪. アスベストとの指摘があったから、アスベストという認識で写真を撮っている。</li> <li>⑫. ブルーシートにある軒天ボードの細かい粉は、ブルーシートと一緒に丸めて捨てた。</li> <li>⑬. ブルーシートは作業ごとに移動して、薄くなったら廃棄するようにしていた。</li> <li>⑭. 足場については、下の職人に落ちたら危ないので、破片などが落ちていないかを現場終了ごとに見ている。ほとんど破片はありませんでしたが。</li> <li>⑮. 軒裏のアスベストを力を加えて落とすということはない。</li> <li>⑯. あとの掃除が大変なのは皆知っているの、シートを巻く作業は慎重にやってもらったが、元々ボードに乗っていたものがシートを巻くときに落ちたのかと思う。</li> </ol>
アイテックス B氏	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. バラシの時に軒先のアスベストを落としたのではと思った。（杜撰な工事を行っているとの認識）</li> </ol>
アイテックス C氏	<p>※質疑なし</p>
府教委 宮崎副主査	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. 庇の状況が良くないということで、10月の初めころ劣化状況の報告を求めた。</li> <li>②. 落下防止を含めて全部取り替えた方が良いと指示しました。</li> <li>③. アスベストを確認するという意味での事前調査の指示はしていない。</li> <li>④. レベル3の対応で施工してくださいとの指示を出しており、石綿作業主任者がついている。</li> <li>⑤. 軒裏撤去で何かあれば現場代理人が記述を出していると思う。</li> <li>⑥. 建設会社がケイカル板を外して、何かあるぞとなった時に不都合があるかということ、金岡の工事の場合、以下の理由により特に無い。               <ol style="list-style-type: none"> <li>i. 2ケ年工事を採用していることから、工期的には学校の協力もあり、ゆとりがある状況であった。</li> <li>ii. 赤字になるといったことがないように、設計変更の対応をする旨伝えてあった。</li> <li>iii. 外壁改修（軒裏天井の改修を含む工程）については、極端に言えば次の夏休み終了まで続けてもいいとの工期発注条件であった。</li> <li>iv. 元請業者はお金に関してはシビアな会社であったため、知って知らんぷりするということはないと思われる。</li> </ol> </li> <li>⑦. 知らずにやってしまったかということについては、気付いていなかったという話しか聞いていない。</li> <li>⑧. 全体的に付いていたとか、ボリュームがすごい状態で部分的にでも点在していたら、気付くかなとは思うが。</li> <li>⑨. 僕も劣化の状態の確認で1ヶ所は見ました（4階の庇）が、廊下側から見ているので全体的に見たというわけではないのですが、その時点で気付いていない。</li> <li>⑩. ケイカル板を外す作業は、レベル3の扱いとして、ブルーシートをUの字型にして養生し撤去するという指示内容で出している。</li> <li>⑪. 安積建設や東畑の監理の方からも除去のような、触れるようなことはしていないという報告は受けていた。</li> </ol>
東畑建築 D氏・E氏	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. (E) 軒裏ボード撤去工事が追加されたのは、生徒の安全のために補修するほうが良いという提案を大阪府に行ったため。</li> <li>②. (E) 軒裏ボードの具体的な作業については、施工計画書を事前に作成させ確認している。</li> <li>③. (E) ケイカル板の撤去についての具体的な作業の指示については、10月23日の指示連絡事項で処理している。</li> </ol>

	<p>④. (E) ケイカル板のアスベスト飛散防止対策については、養生もキッチリさせていた。</p> <p>⑤. (E) ケイカル板の湿潤化については、行うよう指示したが、飛散抑制防止剤の使用は無かったと思う。</p> <p>⑥. (D) パールを使って作業するほどのスペースは無かった。</p> <p>⑦. (D) ブルーシートをずらしながらの作業は、一旦ブルーシートで囲って取り、その後、落ちたものを掃除しながら次のエリアに進んでいく。</p> <p>⑧. (E) 汚れたシートは掃除をして、残った部分はブルーシートごと産廃で出したと聞いている。</p> <p>⑨. (E) 作業後ブルーシートに堆積したものは、分けていたと思う。軒天のLGS、ボード類等大きいものは選別して、細かいところは、ブルーシートで全部処理したと聞いている。</p> <p>⑩. (E) 軒裏ボードを外した際に、ペントハウスと4階東側は確認したが、アスベストの小片は無かった。</p> <p>⑪. (E) 足場の上からブルーシートで養生し、撤去後も清掃しているはず。</p> <p>⑫. 南側も北側と同様の施工をした。ただし、南側は音の問題があるので、全て授業が終わってからの工事。</p>
大伸建設 F氏	※質疑なし
大島建材 G氏	①. 大島建材では撤去作業は行っていない。

【協議事項】 1. 軒天撤去の作業内容の確認

2. 施工業者、監理者はアスベストの存在をしりながら故意に隠蔽して施工をしたのか？

#### ■ 4. 軒裏洗浄の有無

対象者	聞き取り内容（要約）
安積建設 A氏	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. 当然洗っていない。</li> <li>②. メリットの無いものはしない。</li> <li>③. 軒先等の汚れているところの洗浄作業をおこなった。</li> <li>④. 指摘を受けた日に屋上の庇（鼻先）を一部洗い出していた。</li> <li>⑤. 庇の裏を洗っているように見える写真は、側面を洗っているもので、頭が当たるので屈んで洗っていた。</li> <li>⑥. パネルコーキングの打ち替え工事があり、パネルを外すと雨が降る度、廊下に水が入り込んでいたため、学校に了解を得てモップ掛けをしていた。</li> <li>⑦. 仮に軒裏洗浄を行うとデッキプレートと室内天井裏はつながっているので室内に水が入りこんでしまう。</li> </ol>
アイテックス B氏	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. 高圧洗浄をやっていた場所は、4階の廊下側 X13 くらいと思う。</li> <li>②. 拡大した写真を見ると、ガラス面にほぼくっついている状態で、ノズルを上向きにしている。</li> <li>③. 写真の状況から、軒の鼻先の洗浄ができるかどうか。（天井裏を洗浄しているように見えるとの認識）</li> <li>④. モップ作業の場所は、4階廊下 X10～X15 の辺りの窓側。</li> <li>⑤. 建築で塗り直しをする時に高圧洗浄をするとの認識はなかった。</li> <li>⑥. 高圧洗浄で、アスベストを落としたのか分からないと言えば、分からないが、現場にいた時は、全面落ちて大変なことになっていると思い、あわてるというか、恐ろしいことが起きていたと思った。</li> </ol>
アイテックス C氏	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. モップ作業は4階の廊下側 X8～X15 くらいの間だったと思う。</li> <li>②. 当日は雨でしたが、水で洗浄しているところ以外のところを拭きにっていないので、洗浄の水が濡れたものと思っていた。</li> <li>③. 軒の裏側の綺麗なところというのはちょっと濡れているのかなと思ひ、洗浄水で濡れたという風に思っていた。</li> <li>④. 雨だったら他の日にも濡れていただろうし、それは学校関係者が一番よくわかると思う。</li> <li>⑤. 資料9の写真VII-1、VII-2の恰好であれば、天井裏を洗浄することは可能で、鼻先は洗えないくらいだと思う。</li> <li>⑥. 資料9の写真VII-1、VII-2は、3階の軒に乗っているように思っていた。</li> <li>⑦. 軒裏に水をかけると、屋内の天井に水が入ってくるのではないかとのことですが、その時にはそれは分からなかった。すぐに濡れていたとは感じなかった。</li> </ol>
府教委 宮崎副主査	<p>※質疑なし</p>
東畑建築 D氏・E氏	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. (D) 洗浄は庇があるところとか、屋上の防水を施す所の下地を清掃するという意味。</li> <li>②. (D) 水圧は洗車に使用するくらいかもう少し低いぐらいのもの。</li> <li>③. (E) 軒裏の洗浄をするよう指示はしていない。</li> <li>④. (E) 自分が作業者として仮定しても、必要のない作業はしない。</li> <li>⑤. (D) どのくらいの水圧で落ちるかという事だが、40年経過しているアスベストの付着物であるため、脆弱部分は落ちるかもしれないが、堅固に付いているところは難しいと思う。</li> <li>⑥. (D) 軒裏まで洗うと、デッキの山と谷から、廊下、教室側に水漏れを起こす。</li> <li>⑦. (E) 風向きによって、廊下側に雨が強くあたる時には、特別教室も同じような状況で、濡れていた。</li> <li>⑧. (D) 資料9のⅧの写真が濡れているように見えるとのことですが、逆に職人さんとしたら、こんな中途半端な仕事はしないと思う。</li> <li>⑨. (D) 資料9のⅧ-2の写真については、鼻先の洗浄だと思う。</li> </ol>
大伸建設 F氏	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. 天井の洗浄は行っていない。</li> <li>②. 軒裏の吹付けアスベストと思われるものの除去、洗浄は行っていない。</li> <li>③. 上向きに作業してるのは、庇の厚み分（約20センチ）を洗浄している状況。</li> <li>④. 写真では、下から上に向けて鼻先を洗浄していた。</li> <li>⑤. 写真の状況は、全てをこういう形でやったのではなく、取りにくいところだけを、ちょっと角度を変えてやっていたという形。</li> <li>⑥. 軒先の高さが20～25cmあるので、軒先洗浄で内側のデッキのところに水が入ることは考えられない。</li> <li>⑦. 軒の裏側を洗浄するようという指示は一切無かった。</li> </ol>
大島建材 G氏	<ol style="list-style-type: none"> <li>①. 軒天復旧作業時にデッキプレート裏を綺麗にするという作業は行っていない。</li> </ol>

【協議事項】 1. 軒先アスベストを洗浄する作業の有・無

## ■ 5. 軒天復旧作業の内容

対象者	聞き取り内容（要約）
安積建設 A氏	※質疑なし
アイデックス B氏	※質疑なし
アイデックス C氏	※質疑なし
府教委 宮崎副主査	①. 囲い込み作業をするということで、申請手続きをおこなった。 ②. セキュリティールームは、労基と市環境が現地を見て、「この状況で既設の下地の吊り具、同一箇所に溶接で接合して天井ボードを設置するのであれば、アスベストに触れないので、特に必要ないでしょう。」ということで、触れないという前提で、既設の所を狙っていくという方針を決めた。 ③. 応急対策のビニールシートを全面的に外して施工するのではなく、部分毎にビニールシートを外して、すぐに施工するという手順を指示された。 ④. 密閉養生や区画もしていない。 ⑤. 作業者の防塵対策は、マスクと眼鏡はしているとのこと。
東畑建築 D氏・E氏	※質疑なし
大伸建設 F氏	※質疑なし
大島建材 G氏	①. 1階から4階の軒天部分について軽鉄の下地を組んでケイ酸カルシウム板を貼った。 ②. 足場のメッシュ養生の内側に、さらにビニル養生で軒天部分は覆われていた。 ③. 軒天ボードを貼り付ける作業は、一気に全部養生を取るのではなく施工しながら養生をめくっていた。 ④. 作業中に養生の中から外にゴミや粉塵が出た可能性はある。 ⑤. 11月23日から11月26日まで天井復旧作業をおこなった。 ⑥. 軒天を付ける際には削りカス等のゴミはそんなに出ていないと思う。 ⑦. 作業前後の清掃や、天井の穴開け作業の可否などについて、監理事務所から特に指示はなかった。 ⑧. アンカーを打ってもらった後、吊ボルトを吊って軽量鉄骨下地を組んでケイカル板を貼った。 ⑨. 工事に入る前にアスベストがあることは認識していた。 ⑩. 作業員にはなるべくアスベストは落とさないように、触らないようにと注意喚起をしていた。 ⑪. 作業員は密閉防塵マスクではなく一般的なマスクをして作業をしていた。 ⑫. テッキプレート裏に付着しているアスベストを削り落としたりしたことはない。 ⑬. 安積建設から石綿作業に関する指示は特になかった。 ⑭. アンカー工事と天井復旧工事は同時に作業は行わない。先にアンカーを打ってから天井復旧工事を行う。 ⑮. ビニル養生は、アンカーを打つ際に一度外し、アンカー施工後に養生を戻し、軒天復旧時に再度外して施工していたと思う。 ⑯. ビニル養生を外したのは大島建材の作業員。 ⑰. 外したビニル養生に埃や石綿等が付いていたかどうかは定かでない。 ⑱. 軒天復旧作業時は、校舎の窓は全部閉めていた。

【協議事項】 1. 軒天復旧作業の内容確認



■ 6. 軒天復旧時のアンカー設置の有無

対象者	聞き取り内容（要約）
安積建設 A氏	※質疑なし
アイテックス B氏	※質疑なし
アイテックス C氏	※質疑なし
府教委 宮崎副主査	①. セキュリティールームは、労基と市環境が現地を見て、「この状況で既設の下地の吊り具、同一箇所には溶接で接合して天井ボードを設置するのであれば、アスベストに触れないので、特に必要ないでしょう。」ということで、触れないという前提で、既設の所を狙っていくという方針を決めた。
東畑建築 D氏・E氏	①. (E) アンカーは既存のものを使用している。全部は取っていない。 ②. (E) アンカーとボルトが残っていた。それを利用して軽量鉄骨をつないでボードを貼っていった。 ③. (E) 新たにビスを付け加えたということは聞いていない。詳細は分かりません。 ④. (D) デッキプレート自体には触れていないと思う。アンカーそのものが残っていたので、そこへねじ込みで行けると思う。 ⑤. (E) デッキは触らずにということでした。
大伸建設 F氏	※質疑なし
大島建材 G氏	①. アンカー工事は別の業者で、アンカーを打つ専門業者がいる。弊社ではアンカー工事はしていない。 ②. アンカーを打つ際、まわりにアスベストが付着している状況だと、アスベストは落ちると思う。(打つ場所によっても違うと思うが。) ③. アンカーは既存のものを再利用した箇所もあるし、既存がないところは打ってもらった箇所もある。使える箇所は再利用した。 ④. アンカーは既存のもので使えるものも結構あった。 ⑤. アンカーの穴は2列で（4階は3列で）900mmピッチくらいで開けていた。 ⑥. アンカー工事の作業風景は直接見ていない。 ⑦. アンカー業者はどこか知らない。 ⑧. アンカー業者の姿は見ていない。 ⑨. アンカーを打ったあとビニル養生は復旧していたと思う。

【協議事項】 1. 軒天復旧時のアンカー設置の有無と影響

## ■ 7. 土嚢袋について

対象者	聞き取り内容（要約）
安積建設 A氏	①. 屋上に蓄積されていた土砂を高圧洗浄で集めたものを土嚢袋に入れた。 ②. 屋上の土砂だけで、土嚢袋 20 か 30 位あった。 ③. 土嚢袋について、一方的に不自然な状態で見せられていますけど、その時僕らは、現地にいたので、よほど危険なものなら、その時教えてくれたらすぐ走り回って 1 日早く対応できてた。 ④. ペントハウスに吹付けられているアスベストがそこから落ち、高圧洗浄により集められ土嚢袋に入ったのではないか。 ⑤. ここは綺麗に施工されていたが、ペントハウスの庇を覗きこんだら壁より奥にアスベストの吹付けがあった。
アイデックス B氏	①. こちらの勝手なイメージですが、分かってやっていると思ったもので、それならばゴミがあるはずと思い、現場事務所を見に行った。 ②. ブルーシートの上の PP 袋の中にアスベスト片が入っていた。 ③. そこで、写真を撮って、怖くなって逃げて行った感じ。 ④. 高圧洗浄をしている人は、庇の上を清掃しており、石綿があるから、そうしているのかわからないですが、そういうのも落として入念に集めているんじゃないかと思ってました。
アイデックス C氏	①. 私達が工事で見る状態だとボードを取った後、(アスベスト片が) 必ず落ちていることが多いんで、普通だったらもつとあるだろうと思い、事務所にあるんじゃないかと話をしていたら、案の定(土嚢袋の中に)あった。 ②. 落ちてるであろう一番危険な青石綿がどこかに入られているんだろうと、もしかして袋にそのものを集められているのかと思ってた。 ③. 行った瞬間から目の前に土嚢袋があったんで、紐も結んでなかったんで開けてみたら、やっぱり入ってましたねっていう話で。 ④. 全部でいくつあったか覚えていませんが、私が見たのは 1 つだけ。 ⑤. 土嚢はブルーシートで囲んであるような感じですが、ブルーシートの中身は見えていない。 ⑥. 土嚢に入れる作業については、見ていない。
府教委 宮崎副主査	①. 土嚢袋については、どのようにしたのかは聞いていない。多分、安積建設が廃棄したと思う。
東畑建築 D氏・E氏	①. (D) 屋上洗浄した砂を土嚢袋に入れたが、業者はその中にアスベストが入っていない認識であったので、現場事務所の横に置いていた。 ②. (E) 洗浄部分は見ていたが砂が濃くあった。砂をかき集めて土嚢袋に入れていたが、そこにアスベストが混入されるといのは考えられない。 ③. (E) アスベストは、屋上の塔屋の部分のデッキから落ちたものではないかとのことですが、屋上塔屋部分は、直接見たがそのようなものは無かった。 ④. (D) 土嚢袋に土砂を収集している職人もアスベストの講習を受けているので、見たら分かると思う。
大伸建設 F氏	①. 屋上の積もった土砂を土嚢袋に入れた。数は 25~30 袋程度。 ②. 土嚢袋を 1 階に降ろした後、どこに土嚢袋を置いたのかは分からない。 ③. 土嚢袋を下に降ろした日は 11 月の後半だったと思う。22 日とか 23 日とか。 ④. 土嚢袋に土砂を入れている時に青いダマみたいなものは無かった。
大島建材 G氏	※質疑なし

【協議事項】 1. 土嚢袋についての確認

## ■ 8. 窓の開閉状況

対象者	聞き取り内容（要約）
安積建設 A氏	①. 工事中窓を開けないでくださいと言う意思表示で室内から窓を開けられないよう鍵の部分を含め大きくバツテンの形でテープを貼っていた。
アイテックス B氏	①. 窓が開けられなくなっていたのは、足場のあるところだけで、足場以外の窓は開けられる状態。 ②. 窓をピッチリ養生している状態ではなかった。 ③. 足場のすぐ横の窓からは、開閉自由な状態であった。
アイテックス C氏	※質疑なし
府教委 宮崎副主査	※質疑なし
東畑建築 D氏・E氏	①. (E) 撤去の時には窓は閉め切って、外側ビニール養生で被って中を霧吹状のもので湿潤化して、基本的には手バラシをした。
大伸建設 F氏	※質疑なし
大島建材 G氏	①. 軒天復旧作業時は校舎の窓は全部閉めていた。

※軒裏撤去工事開始から軒裏応急ビニール養生完了までの期間（10月24日～11月19日）の間の換気扇の稼働状況

- 【協議事項】
1. 工事期間の窓の開閉状況の確認
  2. 工事期間の換気扇の稼働状況の確認

## ■ 9. 想定されるアスベストの飛散状況

対象者	聞き取り内容（要約）
安積建設 A氏	①. 飛散について思い当たることでは、4階の便所の前の廊下の天井(アスベストの除去をしていないところ)に穴が開いていた。 ②. この穴はもともと雨漏りしていて、腐ったものと思う。 ③. 12月ぐらいにテープを貼ってふさいだ。今もガムテープでふさいでいると思う。 ④. 作業中窓を開けると室内に外気が入った可能性はある。
アイテックス B氏	①. 測定に行くちょっと前までは、暖かかったと思う。風はこの中庭を回っている。 ②. 屋外に散乱したものが、粉じん化して屋内に入りこんだということは考えられる。 ③. 一番気になったのが4階の渡り廊下で、渡り廊下を出てすぐのところの頭の上で、足場があって工事をしている、その庇全面にあったアスベストがなくなったものと思った。 ④. 1階と4階は解放廊下で、生徒も職員もその間を行き来している。 ⑤. 飛散量について、屋内はそんなないんじゃないか、何十本とかいうことはないんじゃないかと勝手に想像している。 ⑥. ファックスで書いたのは、足場の下、4階通路の下など、本当にすぐ上でアスベストの認識のない業者が、かなり杜撰なことをしたのではと思い、渡り廊下の直下を想像して、オーバーかもしれないが、数百本ということを書いた。 ⑦. すぐその下を歩いている生徒がちょうど、ばらしている時に通ったらそういう状況になるのではないかと思った。 ⑧. 屋外ではどんどん拡散するので、どこで計るかによって全然違ってくると思いますし。
アイテックス C氏	①. 5月28日のアスベスト小片の発見について、あくまでも想像ですが、結局たくさん落ちていたのかなと思う。そのうち1つが風で流れて建物に吹き込むような、その当日もそうだったので、下に隠れてしまったというか、それを掃除とかしたんでしょうが気付かなかったんだろうと。工事しても、分からないといっていた工事屋さんたちが清掃したって、見つけれない(十分な掃除がなされていない)と思っていた。 ②. 5月28日のアスベスト小片の発見後も少し出てきたという話ですから、工事が終わってからもずっと、風で結局空気が流れているから、ものすごい濃度にはなってないでしょうけれども、低濃度でも多少あったのかもしれないなという風に思う。
府教委 宮崎副主査	※質疑なし
東畑建築 D氏・E氏	①. (E) アスベストが室内に入ってきたようなルートと言えば、ケイカル板に乗っていた吹付材を、足場のブルーシート上で作業員が踏みつけることや、シートをたたむときに落ちたものが、生徒さんの足について校舎内に入ることもあり得る。 ②. (E) 教室の換気扇のところの養生は、プラスチックの板が覆っていた程度で、密封されていた訳ではない。(※教室側の施工は、生徒のいない時間帯で実施) ③. (D) アルミサッシも40年以上も前のものですから、見込みも70位の今でいうと小さいアルミサッシに違いはない。
大伸建設 F氏	※質疑なし
大島建材 G氏	※質疑なし

【協議事項】 1. 想定されるアスベストの飛散状況の確認

■ 10. その他の内容

対象者	聞き取り内容（要約）
安積建設 A氏	※なし
アイデックス B氏	①. 公共工事で、建築の方はアスベストを見つけたときに、あえて黙ってこんなことをするのか？ ②. 追加工事の対象でお金ももらえるのにこんな危険を犯すのかなと思った。 ③. 青石綿は改修工事とかしている人なら誰でも分かると思う。 ④. それをモルタルだなんて言うなんて、HP の情報を見ると、なぜ建築屋さんが分かって公共工事で追加がもらえるのにそんなことをするのかなど。
アイデックス C氏	①. 工事がひどい。 ②. アスベストの除去工事でもないのに、アスベストが露出しているのを見て、なんでそのまま放置しているのかなど。 <b>【11月17日(土)の状況について】</b> ③. 北側の特別教室棟の1階ではソフトボール部が練習をしていたのを見た。 ④. 南側の棟は飛散しているところのエレベーターの階段の付近で、何部かわからないが階段を登り降りしていたと思う。 ⑤. 階段を登り降りしていたのは、サッカー部だったと思う。10人以上、もしかしたら20人30人いたのかも知れない。 ⑥. 体育館でバスケの大会みたいなをやっていたのか、そういうところ（校舎の西側）で走り回ったり練習をしていたと思う。 ⑦. (バスケは、) 他校の生徒もいたんじゃないか。100人以上いたんじゃないか。 ⑧. 他には、西側の渡り廊下に写真が貼りだしてあって、そこに2、3名の生徒がいたと思う。 ⑨. 工事区画の内側については、あまりすれ違ったりしなかったが、ものすごく東側までは来ていなかったと思う。 ⑩. 体育館は2階の入り口が校舎と繋がっているつもりだと思うが、その2階のところ、うろろろしていたように記憶している。
府教委 宮崎副主査	※なし
東畑建築 D氏・E氏	①. (D) 現場に青石綿があったという事実は写真も撮られているようなので、落ちていたのは間違いないと思う。 ②. (E) 土嚢袋の中のアスベストについても疑義がある。 ③. (E) 図面や現地の対策の状況から、軒裏にアスベストがあるという認識は元々なく、モルタルみたいなものが付いているなという認識だった。 ④. (D) 役所工事で、設計図書以外のところでお金をかけてアスベストを吹いておられるとは、当然考えられない。 ⑤. (D) 軒先の部分は、耐火被覆の必要はなく、外部であるので断熱も必要ない。 ⑥. (E) 結露でも、外部の軒天の断熱は今でもしない。 <b>【幕板金物設置工事時】</b> ⑦. (E) 幕板金物設置工事については、屋上のステンレスのフラットバーでL型に庇の上からモルタルを受けるようにして設置している。 ⑧. (E) L型部分は溶接だったので振動とかは無かった。 ⑨. (E) 軒裏にあったアスベストが飛散するほどの振動ではないと思うが、ちょっとわからない。 ⑩. (E) 作業時の養生については、足場があり外部にはメッシュシートがあった。石綿ボードの撤去後なので防護関係は無かったと思う。 ⑪. (E) ステンレスの金物を取り付けるだけなので、廃棄物も清掃もない。軒裏に接触する作業でも無い。
大伸建設 F氏	※なし
大島建材 G氏	①. 弊社はアスベスト関連工事は行っていない。 ②. アスベスト工事の届出義務関係については特に何も聞いていない。

【協議事項】 1. 聞き取り（面接）の中で特別に抽出すべき発言内容等の確認